

光彩放つ

「よこしばひかり人」たち

横芝光町の過去・現在・未来。

これまで、たくさんのお話が
つくられてきました。

そしてまた、今日から明日へと、

新しい夢が生まれ、カタチになっていきます。

その中心にいるのが、このまちで暮らし、
活動し、交流しているたくさんの方々。

ここでは、さまざまな分野で活躍し、
光彩を放っている

「よこしばひかり人」をご紹介します。



主婦・農業
鈴木静さん

Profile

2010～2013年にNPO法人TINA、合同会社SOZOの「田舎de婚活」イベントのスタッフとして活動。自身が経験したからこそ思う「婚活」について多くの人が安心して参加できるように心を砕き、町内で3組のカップルが成婚。

横芝光町の野菜には
どれも愛情がたっぷり入っています

野菜専業農家の一員として家事・育児をこなす鈴木さんは神奈川県出身。ご縁があり町民になるまでには素敵な出会いが重なったと言います◆「将来は、のどかな田舎で暮らしたい」と思っています。

夏休みに過ごした祖父母の家の影響でしょうか。都会で働きつつ農業にも興味を持ち、また女性としての将来に結婚を意識した頃、運命の扉が開きます◆「丸の内朝大学という。朝活」に参加して、横芝光町で活性化に取り組む秋葉秀央さんの講義に感銘を受けたのがすべての始まりですね。農家である主人とも出会えたい、好きな農業と幸せな結婚が叶いました。今後は町活性化に役立つようなことにまた取り組みたいです。



トマト栽培農家
若梅健司さん

Profile

種苗メーカーやJAから発行される書物の監修と執筆をこなしつつ、大学講義も行う。栽培品種「桃太郎グランド」をはじめデータを収集するための作業日誌は、70年間一度も休まず記録している。

若梅さんは一人で7棟のビニールハウスを維持し、トマトを栽培しています。かつては短かかった収穫期間を飛躍的に延ばした「ぶったおし栽培」の創始者です。その功績が認められ「農水省認定農業技術の匠」として農業の発展に貢献しています◆「ハウスの中で50mあるトマトの柵を15秒で一気に倒すんです。苗をより地面に近づけることで霜時期にも負けないという栽培法です。味はもちろん、日持ちの良さもうちの自慢かな」◆その表情には、わが子を語るようにトマトへの愛情があふれていました。

仕事と思えば苦労あり
だからこれは「道楽」だね



NPO 法人 TINA 代表理事
秋葉秀央さん

入団テストの
内容ですか？
楽しく
面談するだけです(笑)

エンジニアとしてPCに向かうかた
わら、週末は光ウィンドの団長として
団の運営に励む神尾さん。団員からの
信頼も厚く、朗らかな人柄は周りを明
るくします◆「僕はチューバという金
管楽器を担当しています。練習場所
など町のバックアップもあり団員は
120名を超えますがまだまだ！ 目
指すところ200名、大募集中です」
◆昨年の吹奏楽コンクールでは難関で
ある全国大会への切符を3年連続で手
に入れ、演奏力の高さでも知られます。
その秘訣は？と尋ねると「練習後の
ファミレス談話。これが何よりチーム
ワーク強化に繋がりますね」と一言。
団員の笑顔を誘っていました。



光ウィンドオーケストラ団長
神尾彰宏さん

一度は
都会で暮らしても
また帰れる
まちにしたい

NPO 法人の代表をはじめ、ペン
ション経営や農業体験の企画運営な
ど、秋葉さんは若き実業家として躍進
を遂げています◆「一度は東京で就職
しましたが、東日本大震災や自身の結
婚を機にUターンを決意しました。地
元の農家が後継者不足であることは
知っていたし、雇用の問題が解決しな
いと若者が故郷に戻って来ることは難
しいんですね」◆生まれ育ったこのま
ちに貢献したいという秋葉さんの熱意
に賛同した住民により、これまで少し
ずつ可能性を広げました。「自慢
ができる元気なまちづくりを目指して
活動しています」。

Profile

九十九里エリアの活性化を目標に10名で発足した「コレカラ99」もライフ
ワークのひとつ。中でも地元元講師を招くミライカフェは3か月に1度、
秋葉さんのペンションで開催している。

Profile

高校の恩師の勧めで入団し、はや24年。団長としては15年という期間を
務めている。休日になれば、馴染みのライブハウスで趣味のDJを披露す
ることも。



東陽病院看護師
中野杏奈さん

子どもたちが
仲良く
のびのび育つ場所です

Tシャツとジーンズ姿がスマートな
田山さん。ご主人とともに野菜作りを
生業としています◆「主力はトマトベ
リーというミニトマトの品種です。甘
みがあって、上手にできるとかわい
いハート形になるんですよ」。ほかに、
ピーマンやとうもろこし、レタス、か
ぶなど多種を手掛け多忙な毎日とのこ
と◆「私は結婚を機に静岡県から移住
しました。横芝光町は子どもを育てる
上でとても良い環境なんです。お互
いをよく知っていてそのまま大人に
なっているのは羨ましい」と、田舎
ならではの魅力について語ってくれ
ました。

自分が産まれた病院で
郷土に
恩返しをしたい！

中野さんは、看護師になるのが小さ
い頃からの夢だったそうです◆「テレ
ビで観た。密着もの」の影響もあった
かもしれせん。人の役に立つこと
とても素晴らしいと思っただけで
す。それに実は私自身、ここ東陽病
院で産まれたのです」と中野さん。思
いを開花させ、21歳のとき念願の看護師
となりました◆「患者さんと接するこ
きは、常に笑顔で」が中野さんのモツ
ト。 「横芝光町には近所や地域の「つ
ながり」があります。皆さんに支えら
れて現在の私がいる、そう思うんです。
だから恩返しをしたい」と明るく話
します。

Profile

平成19年4月から東陽病院に勤務。一般病棟で看護全般を行う。平成27
年には、看護学生を受け入れるための実習指導者となるべく病院を代表し
て研修を積む。



主婦・農業
田山淳子さん

Profile

結婚当初は土に触れり野菜を作る経験がなく「自分にできるだろうか」と
考えたことも。今では育てた野菜を味わう幸せを実感しながら、多くの方
に届けたくて毎朝、出荷場に向かう。

牛のアスリートとして
しっかり育てる使命



若潮牛生産者
関口次敏さん

Profile

牛たちは関口さんが乗る軽トラの音が牛舎に近づくだけで気分が集まるという。後継者不足を懸念する一方で、肥育農家としてのさまざまな想いを丁寧に話してくれた。

底抜けに明るい印象とにじみ出る優しさ。ブランド牛を「創る」という仕事において、これこそが良いお肉となる秘訣のようです。◆「子牛から28〜30か月の間、家族と役割を分担して育てます。7か月あたりが最も病気にかかりやすい時期だから、気を張っていないかならない。もうね、これは自分の子どもと同じですよ(笑)」◆関口さんの牛肉は高く評価され、受賞歴もあります。「賞は結果論です。だってこれだけ頑張ってきたんですもの。いい肉になってくれるでしょう。土壌も最高に良い。牛として生まれてきた運命を全うさせるその手助けが、私たちの仕事なんですな」。

未来へつなげたい
わが地区の伝統行事



中台梯子獅子の演者
秋葉憲一さん(右)
鈴木喜信さん(左)

Profile

秋葉憲一さん「ひよっこ役」を経験した後、梯子獅子の後方を担当するようになってもうすぐ20年。後進の指導にも熱心に当たる。／鈴木喜信さん二十歳になって地区の消防団に入り、その流れでこの道へ。梯子獅子の前方を務めている。

立春から数えて210日、台風を鎮め、五穀豊穡や悪霊払い、息災延命などを祈願する風習に大宮神社の境内で奉納される中台梯子獅子。「中、台神楽」として平成21年4月町の無形民俗文化財に指定されています。真夏の日差しの中、7間半(13・5m)もの大梯子の上で繰り広げられる勇壮な舞いの人々を魅了します◆「少しでも気をぬけば梯子から落ちます。だから着実な演技が第一です。常に観ている方に喜んでもらえる演技を心がけています」と秋葉さんが話せば、鈴木さんも「私も同じです。二人で正確な演技をすることが大切です」。さらに「課題は後継者づくり」と異口同音に。まさに阿吽の呼吸です◆若者が主役となつてこれからも継承されること、二人のそして地区の皆さんの願いです。

諦めずに関わることで
思春期の想いに寄り添う



横芝中学校養護教諭
萩原初穂さん

Profile

まちの中で一番好きな場所は図書館。学生時代、館内に流れるオルゴール音を聞きながら勉強に励んだ。穏やかに優しい話し方が聞き手に安心感を与え、すでに「恩返し」は始まっている。

将来の夢を意識する頃にはすでに養護教諭になることを決めていた秋原さん。幼き日、保健室での思い出が影響しているといいます◆「小学校の頃ですが、インフルエンザにかかってしまつて。帰るまでの間過こした保健室で、養護の越川君恵先生がかけてくれた毛布のあたたかさで安心感が忘れられなくて。この時に優しさとは何かを覚えた気がします」◆後に大学の心理カウンセリング科を卒業し、憧れの先生と同じ職業に就く夢を叶えました。「思春期に抱える想いに寄り添い、サポートできる教員でいたいんです。それがあの日の越川先生への恩返しかもしれません」。

東北からも見学に来る
とても嬉しいものです



サケの捕獲名人
大木義夫さん

Profile

生まれも育ちも横芝光町。音は栗山川も澄んでおり、泳いだし、しじみも獲れた。稚魚を放流し再び遡上する際、かつての勢いが戻るためには川底の石や産卵に備えた環境が大勢と教えてくれた。

千葉県の北東部を流れる栗山川は、サケが自然遡上する川として知られています。ここで毎年、子どもたちによる稚魚の放流指導や捕獲の名人として、大木さんの名が知られています。「名人だなんて、なんとも受け入れ難い話ですよ(笑)。もう70歳になるから」◆きっかけは昭和51年、漁業組合からの委託で引き受けたこと。「捕獲は11月からの2か月間、毎朝4〜5時に二人掛かりです。かつては1500匹戻ってきたサケも今じゃ350匹前後かな。その後は専用の小屋で卵を孵化させ、稚魚まで育てるのは全体の半分」◆期間限定の捕獲をぜひ見学して欲しいと語ります。



横芝小学校【明治7年創立】



やる気・勇気・元気・根気
つちや あきは
土屋 輝葉さん

この4つの合言葉で全校児童が勉強や運動に全力で取り組んでいます。きれいな歌声も自慢のひとつです。



上埦小学校【明治20年創立】



強い“絆”で一致団結
いとう ほなみ
伊藤 保奈実さん

児童も先生方も力を合わせて一致団結できる学校です。毎日の元気なあいさつが心をつないでくれます。



大総小学校【明治23年創立】



くすのきの下でリラックス
いとう あやか
伊藤 綾香さん

学校にある大きなくすのきの下に行くと思議と気持ちがやすらぎます。また、みんなが仲良しで協力的なところも自慢です。



自浜小学校【明治22年創立】



いつも全力で取り組める学校
はやかわ ごうかく
早川 豪くん

わたしたちの小学校は、自分から明るく元気なあいさつができる学校です。全校児童が勉強も運動も遊びもいつも全力です。



東陽小学校【明治8年創立】



サケがもどる栗山川に見守られて
みずすわ たいよう
水須 太陽くん

サケがもどる南限の栗山川が見守る僕たちの小学校は、陸上、歌声、何にでも一丸となって取り組む「和」を大切にしている学校です。



南条小学校【明治34年創立】



学校を包む自然が最高!!
すずき あやか
鈴木 彩加さん

春は80本の桜が咲き乱れて桜色のトンネルのようになり、秋はイチヨウの葉が落ちて黄色いじゅうたんになり、とてもすてきです。

〔小学校編〕

〔中学校編〕



横芝中学校【昭和22年創立】

積極性と個性を伸ばせる学校

おだか しょうご
小高 翔梧くん

部活動、学業とともにとっても盛んであり、生活面でも立ち止まって行うあいさつなど、当たり前のことにも一つずつ心を込めて行動しています。生徒それぞれが交流を深めることで更に新しい自分も発見できる、すばらしい学校です。



光中学校【昭和35年創立】

信頼できる仲間との「絆」を深めて

もり ひろき
森 敬規くん

学校教育目標に「文武両道」を掲げ、生徒が健康で学業やスポーツに打ち込める学校です。年に2回、葉っぱの形にした紙に友人の良いところを積極的に記載する『希望の葉』をもとに、生徒同士はもちろん先生方との絆も深いと感じています。



日吉小学校【明治10年創立】



全校生徒の顔と名前がわかります
ふせ ぞら
布施 天くん

僕たちは、入学すると休み時間のたびに校内全員で遊ぶのですぐに仲良くなります。そして顔と名前が誰でもわかるようになります。

横芝光町の一番の「たから」、それは子どもたち。町内には歴史と伝統をもつ7つの小学校と2つの中学校があります。各校の児童・生徒たちに学校自慢をしてもらいました。